

松元公民館だより

～学び・つどい・つながる「松元公民館」～ 令和8年1月号



いぶきまつもと

右の二次元
コードから公
民館だよりを
閲覧できます



〒899-2703 鹿児島市上谷口町3366-1
TEL 099-278-1312 FAX 099-278-3830

「当たり前」の日常にありがとう

鹿児島市松元公民館 館長 有村 真由美

戦後間もない1946年(昭和21年)、焼け野原になった自分たちの町を復興させたい、民主主義の根付いた社会をつくっていききたい、そんな思いで生み出されたのが公民館です。さて、松元公民館はそんな思いにこたえられているだろうかといつも思います。

12月6日、当館において、北朝鮮拉致被害者家族の市川健一さん・龍子さんご夫妻に講演をしていただきました。ある日突然、大切な家族がいなくなった悲しみを抱えたまま47年が経過。その間、帰国を待ち続けたご両親が他界。諦めずに声を上げ続けてこられた強い気持ち・・・それらのお話を伺い、私たちは拉致問題を風化させないこと、関心を寄せ続け、伝え合うことが大切なことを改めて感じました。

戦後80年、社会は豊かで便利になりました。辛い思いをしたからこそその先人たちの思いを忘れずに、身の回りの小さなことに感謝の気持ちをもてる自分でありたいと願います。

令和7年も多くの方に公民館を利用していただき、そして温かいお声をかけていただき本当にありがとうございました。令和8年も、多くの方が集い、つながり、大きな輪(和)になって、松元地域で暮らす皆様がますます元気に、そして笑顔になるお手伝いができるよう、職員一同令和8年もがんばります。どうぞ、何も用事はなくても公民館にお気軽にお立ち寄りください。

追伸：松元公民館の幸福の木に花が咲きました。ネット情報によると、花が咲くのは非常に珍しく、数年～数十年に一度程度咲かせることもあるそうです。花が咲くと幸運が訪れる、縁起がよいと言われているとか。松元地域にすてきなことがたくさん訪れる一年になりますように！

公民館講座後期編パート2

12月号に引き続き後期講座の様子です。受講された皆さんの写真と感想を紹介します。

来年度も新たな講座を計画していきたいと思います。楽しく学んで、つどい、多くのつながりを持ってください。皆様の受講をお待ちしています。

(募集は来年4月の市民のひろばや公民館だよりにて)

【はじめてのスマホ】



基本的なことをいろいろ教えてもらい、できる喜びを味わいました。知ることは楽しいな。

【初心者陶芸教室】



たたや玉作りを教えてもらい、自分の形に成形することに没頭。釉薬も楽しみだな～。

【和歌で遊ぼう百人一首】



札を見つける楽しみ、見つけた札を早くさわる喜び、百人一首は、ちはやぶって楽しいよ。

【頭の体操 健康マージャン】



残す牌と捨てる牌など頭を使います。リーチをかける喜びとロンされる悲しみがいい。

【私だけのクラフトバック】



細かい編みあげ作業は、少し力を使いますが楽しいです。自分の作品にうっとりします。

松元地域人権問題研修会

演題：「家族の絆」

講師：北朝鮮による拉致被害者家族 市川健一氏・龍子氏

12月6日(土)、松元地域人権問題研修会(講演会)を開催しました。「家族の絆」と題して、北朝鮮による拉致被害者家族の市川健一・龍子夫妻に講演していただきました。

まず、健一さんが弟の修一さんと増元るみ子さんが吹上浜で北朝鮮に拉致された経緯やその後の北朝鮮の不誠実な対応について憤りに満ちた表情で話をされました。その後、龍子さんが47年間残された家族の歯がゆい思いを切々と話されました。

生死が分からない生き地獄にいる拉致被害者家族、亡くなった母の無念さなどのお話を聞いて、講演を聞かれた方も何かしなくてはという思いに駆られたのではないのでしょうか。日本国民の人権を守るためにも一人一人が感心を寄せ続け、伝え合うこと、拉致は決して許さない姿勢を見せることが解決へ向けて大きな力になるということを改めて感じました。

御出席いただいた皆様及び御署名いただいた皆様に感謝申し上げます。また、運営に御協力いただいた皆様ありがとうございました。出席された方の感想の一部を紹介します。(一部抜粋、加筆)

- ・ 日頃のニュースなどで拉致問題を目にすることはありましたが、今回市川さん御夫妻の話を聞き、胸が張り裂けそうになりました。修一さんとりみ子さんの人生が一瞬にして奪われたという現実はあまりにも苦しい。子を持つ親として耐えられません。
- ・ 全ての拉致被害者の方の「ただいま」を願い、関心を持ち続けます。
- ・ 私が生まれてからの47年間、苦しみ闘ってこられた御家族の思いが胸に刺さりました。北朝鮮による拉致問題、日本国民にとって大きな人権侵害であること。日本人として鹿児島人として、とても危機感を持ちました。人ごとではなく自分たちが自分たちの人権を守るためにも関心を持ち続けて、多くの人とこの問題を共有していきたい。
- ・ 小学生の頃、吹上浜で修一さんとりみ子さんを探すチラシを両親と一緒に乗った車で受け取りました。その時はただもらっただけで何も感じなかったのです。今となっては後悔しかありません。風化させないようにしていきましょう。
- ・ 同じ県民として「がんばってください」ではなく、「一緒にがんばりましょう」という気持ちです。力になれることがあれば喜んで力になりたいです。
- ・ 吹上浜の夕日と同じ夕日を今も修一さんが見ていると思うと……。また、修一さんのサンダルが主人の帰りを待っていると思うと……。



公民館音楽祭

「松元ジュニア太鼓」が舞台発表(サンエール)

「陶友」1/12~1/18が展示発表(サンエール) 1/13休館日

1 日時 令和8年1月18日(日) 13:00~16:00 参加無料

2 会場 サンエールかごしま(TEL 813-0851)

※ 詳しいチラシは、松元公民館にも置いてあります。是非、ご覧ください。

生活科見学で公民館にやってきましたよ



11月20日(木)に松元小学校の2年生68名が公民館の施設見学にやってきました。各部屋(図書室を含む)を見学してから、仕事内容



12月1日(月)は東昌小2年生11名がやってきました。館内を見学して、講座の受講生と交流もしました。図書室では司書のクイズにチ

や利用者はどのくらいかなどの質問タイムをしました。最初から最後までとても行儀よくて感心しました。今度は保護者と一緒に来てくださいね。

チャレンジして盛り上がっていました。本をたくさん借りました。中学生になったら勉強しに来ますと言って、満足して帰って行きました。